

1 主題名 勤労と社会貢献

2 ねらい 働くことの尊さや意義を学び、「生きがいある仕事」とはなにかをみつめる。

教材名 「ぼくの職場体験活動」(出典:「彩の国の道徳」(中学校)『自分をみつめて』県教委)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

本時は、中学校の内容項目「勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。」に関するものである。そして本時のねらいは、働くことの意義を学び、「生きがいある仕事」とはなにかをみつめることである。働くことは私たちが社会生活を営む上で重要なことである。生徒たちが今後就職するときには、収入、自己実現、社会貢献など様々な価値観の中で職業を選択し、これからの未来を切り拓いていかなければならない。さらに、就職がゴールではなく、スタートであることを意識させることが必要である。職業観を育成するために本校では12月に3日間の職場体験学習を予定している。今回の題材から生徒自身が「働くこと」について考える姿勢をつくっていききたい。

(2) これまでの学習状況及び生徒の実態について

1学期に実施した「進路クラブ」のアンケートによれば、「やりがい」を重視する生徒が8割、「安定」を重視する傾向にある生徒が7割であった。また、総合的な学習の時間に行った、職業調べの発表会では、「地味な仕事は嫌だ」「給料のいい仕事に就けるようになりたい」という感想を持った生徒がみられ、生徒の職業観に関する視野はまだ狭いと感じた。そこで、この授業を通じ主人公の視点をとおして、「働くことの意義」を深く追求できる生徒を育てていきたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、希望していない職場へ体験学習に行くことになった主人公が、職場体験を通して成長する話である。主人公は、同じ職場の活動の中でも、自分だけが大変な仕事にあたってしまい、気の進まない中で仕事をしてきた。しかし、一日が終わった後に、みんなの前で主人公の働きが褒められた。働くことの意義を店の主人から聞き、仕事への考え方が変わった主人公は、明日からもっと頑張ろうと決意する。この資料を通して、生徒には主人公への共感とともに、同じ状況なら自分はどうか感じどう行動するかを考えさせたい。そのために本時の話し合い活動では、以下の3つの場面を中心にして、考え、論議し、ねらいに迫っていく。

①行きたくない職場にくじ引きで負け割り当てられた上に、やりたくない仕事を任された主人公の、気持ちに着目する。

②店の主人の話を聞いたことで、主人公に起きた変化について考える。

③働くことに関しての考え方が、なぜ変わったのかを考える。

4 学習指導過程

段階	学習内容と主な発問	予想される生徒の反応	・指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 進路クラブの中のアンケート結果をPCで提示して、学級全体の働くことへの関心や認識や傾向を知る。(7分)	・今回の授業の内容に興味関心をもつ。全体の意識と自分の意識などをみつめる。	・テーマの提示を明確にする。教材の内容に興味をもたせる
展開	<p>2 教材を読む</p> <p><u>登場人物</u> <u>和人(ぼく)</u> 高明 陽二 <u>店長</u></p> <p>登場人物と状況の内容を把握する。 資料を範読する。(8分)</p> <p>3 主人公の気持ちを中心に考えを深める。</p> <p>(1)一人で店の外を掃除しながら、和人はどんなことを考えていたのだろうか。(個人で考え、発表)</p> <p>(2)(ワークシート☆1) 和人の考えが変わったのはなぜだろうか。(個人で3分考え、グループで5分話し合い、各グループの代表が発表) (15分)</p> <p>(3)(ワークシート☆2) 帰りの和人は、明日からどのような働きようか、考えるようになったのだろうか。(発表) (7分)</p> <p>4 今回の授業を通して、自分が考えたことをまとめる。(8分)</p>	<p>・和人の気持ちを中心に、<u>和人の立場</u>から心情の変化を見つめる。</p> <p><u>主人公の視点で考える</u> 主人公の気持ちに近づく</p> <p>・なんで俺ばかり ・ついてない、本当についてない。 ・仕事は楽しくなってくるものだと感じたから。 ・自分の働きが認められて、やりがいを感じたから。</p> <p>・明日はもっと楽しく仕事ができそうだ。 ・お客さんに喜んでもらえるように頑張ろう。</p>	<p>・登場人物について説明する。 ・内容がわかりやすいように、丁寧に資料を読む。</p> <p>・ここで<u>変化</u>をとらえられるようにする。 ☆最初は、割り当てられた仕事に対して、マイナスイメージをもっていたことを明確にする。 ・意見を聞き生徒自身の考えを深める。 ☆仕事に関しての、マイナスイメージがどのように変化していったのか考える。 ☆ペダルが軽くなった背景にある気持ちを考える。</p>

終末	5 教師の話。働くことについて教師の体験談を語る。(5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・教師自身の体験談を聞く。 ・生徒自身が授業前と授業後の意識の変化を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の心に柔らかく語り掛け、働くことの意義について、考え続けられるような余韻を残す。
----	-------------------------------	---	---

5 他の教育活動との関連

事前指導	進路クラブ（職業適性検査）のアンケートの結果をもとに、働くことに対しての意識調査をする。身近な人の職業について調べ、新聞にまとめ発表する。
道徳科	教材名「ぼくの職場体験活動」を通して、働くことの意義を学び、「生きがいある仕事」とはなにかをみつめる。
事後指導	職場体験活動を通し、働くことの意義を、実体験を通して深め、今回の授業で学んだことと体験したことを合わせて考えを深める。
家庭との連携	学級通信などで、道徳の授業の感想や職場体験活動の実施内容を報告し、共に将来の「働くこと」について家庭内で語り合う。

6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・働くことに関しての主人公の気持ちを中心に、自身の考えを関連付けている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・仕事を「生きがい」としている人をみつめ、自分との関わりの中で考えを深めている。

7 板書計画

ぼくの職場体験活動
 和人（ぼく） 高明 陽二 店长
 店の掃除を任せられたとき

☆2
 和人は、明日からどうやって働こうと思ったか。
 ・お客さんに喜んでもらえるように頑張ろう。
 ・明日はもっと楽しく仕事ができそうだ。

働くことの意義

働いている人はすごい

僕も役に立てた

認めてもらった!

褒められると楽しい

ちゃんと見てくれている人がいた

評価してもらってうれしい

☆1
 店長からほめられる
 和人の考えが変わったのはなぜだろうか。
 ・なんで俺ばかり
 ・ついてない、本当についてない。

授業の中で考えたこと
 ・人の役に立つことを進んでできる人になりたい。
 ・どんな仕事でも、誰かのためになっている。
 ・いろんな職業について知りたいと思った。
 ・人に喜ばれる仕事って何か、考えてみたい。

ぼくの職場体験活動

1年 組 番

名 前

☆1 和人の考えが変わったのはなぜだろうか。

と、和人は感じたから。

☆2 帰り道の和人は、()からどのように働こうと考えるようになったのだろうか。

今日の授業を通して、あなたが考えたことをまとめましょう。